



Rotary Weekly

広島空港ロータリークラブ週報

2017年8月5日発行

会長 乗越耕司 / 副会長 佐々木正親 / 幹事 河井一郎 / SAA 玉川勇二郎

事務局 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会 2階

TEL 0848-86-0986 ・ FAX 0848-86-0992 ・ E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp

例会会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

2017-18年度

イアン H.S. ライズリー R I 会長テーマ

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

ロータリー: 変化をもたらす



AUG 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

休会

納涼例会

休会

休会

例会

例会

本日のプログラム (8月5日)

納涼家族例会

フォレストヒルズガーデン 19:00~21:00

次回のプログラム (8月23日)

社会医療法人 千秋会 井野口病院 院長 井藤久雄様
「台所でできるがん予防: 最近の話題から」

第1082回 2017年7月26日 例会記録

点 鐘 乗越会長

ロータリーソング「我等の生業」

出席報告

	会員数 名誉会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (7/26)	27 1	18	2	7	74.07
メイク	灰谷・重森				
前々回 (7/5)	27 1	21 1	2	4	85.19
メイク	灰谷・重森				

食事時間



報告事項

我々が以前シスター黒田小夜子さんが設立されたブルキナファソの栄養失調児回復センター (CREN) を支援していましたが、この度、黒田さんが7月21日公益財団法人社会貢献支援財団の表彰を受けられました。その時の写真をお兄様が届けてくださいましたのでご報告させていただきます。



黒田さんが作られたブルキナファソの栄養失調児回復センター (CREN) は、バオバブの会 (代表 内山恵子様) が支援を続けておられますが、そちらからの情報も届きましたので合わせて回覧させていただきます。

シスター黒田小夜子 (東京都)

1973年にマリアの宣教師フランシスコ修道会 (以下FMM) に入会し、1983年に世界で最も貧しい国の一つとされるブルキナファソのサノロス国立病院に看護師として勤務した。そこで治療を受けているにもかかわらず、栄養失調で多くの子どもたちが亡くなるのを見て、専門の知識を身に付けて実践した栄養処方が成果を上げた。また栄養失調を繰り返す子どもの家庭環境の改善が必要と考え、病院を退職後は、農園、養鶏、菜園、動物飼育を以ての肥料づくり、飼料のための製粉所の設立、植林、自営のための作物販売所も経営し、FMM栄養失調児センター (CREN) を設立した。食料の提供とともに、学校教育のための子どもに寄宿舎も設置した。CRENの運営が現地のシスターに引き継がれた後、2009年からはパキスタンに派遣され、2012年に赤字が続き破産の恐れがあったファイサラバードの聖ラファエル病院の再建を託され、経営不振の原因を解明し、黒字経営を実現させた。2015年8月15日、同病院は国の認定病院とされ、自立自営でFMMミッションを続けている。

シスター黒田小夜子をサポート下さった皆様へ

H29.7.23.

兄 黒田邦美

ブルキナ・ファッソ、パキスタン在住時は心からの支援を受け、活動の推進を後押しして頂きました。これらの成果が評価されて、7月21日帝国ホテルに於いて表彰されました。授賞式には社会貢献支援財団安倍昭恵会長から、祝賀会では日本財団笹川会長からご祝辞を頂きました。皆様からのご支援の賜物と心から感謝申し上げます。懐かしい写真も添えますので思い出して頂ければと思います。



安倍昭恵会長から表彰状授与



祝賀会で安倍会長と支援者及び兄弟



パキスタン病院支援で日本大使と調印会



小谷小学校でサロメさん他と講演



元浄寺で支援会議



東広島市 蔵田市長を表敬訪問

バオバブの会ニュース 16号

2017.7.4

皆様、大変ニュースが遅くなり申し訳ございません。

ブルキナファッソでは、シスター黒田から、シスターサロメ、シスターDassin と責任者が代わってきましたが、今回いただいた報告から、ずっと変わらず、活動を続けていただけていることが確認できました。別紙にてお送りします。センターでは、ずっと子どもたちの勉強や、健康面をサポートしてくださっています。今年度もご支援をよろしくお願いします。

CREN の活動

A) 自給自足の中では、どのようなものを栽培したり育てていますか。

・CREN 内で消費する大豆、ヒエ、とうもろこし、ピーナッツ、豆を育てています。残念ながら、ここ最近では降雨量が少ないため、消費に必要な分の収穫が出来ていません。
・鶏の飼育をし、鶏卵を得て子どもたちの栄養補給に役立てていきましたが、飼料費がかかりすぎるため止めました。自給ではなく購入の方が安く、現在は購入することにしていきます。
・飼料が高いのですが、家畜(牛)の飼育は続けています。新鮮な牛乳はとても高いからです。
・母親たちにも畑仕事を手伝ってもらっています。しかし、母親たちは仕事が大量で辞めてしまうことがしばしばあり、人手不足に困っています。また、畑のために人を雇うとしても降雨量が少ないことが原因でコストがかかり過ぎていきます。

B) お母さんの健康状態

大抵の場合は母親も栄養不足に陥っていることが多いです。例えば、赤ん坊が HIV/エイズに罹患していたりする場合は、母親からの感染であったりします。母親の健康状態が悪い場合は、CREN では赤ん坊のケアと同時に母親のケアもします。赤ん坊のための栄養豊富な小麦粉を大人向けのトールと呼ばれる食べ物に調理し、干し魚とともに提供することもあります。トールにかけるソースは、栄養価の高いバオバブ、ほうれん草やオクラなどを使います。母親は赤ん坊よりも早く回復する傾向にあります。

C) センターの子どもたちはどのような病気なのか

ほとんどの子どもは食欲不振(母乳が満足に与えられなかったことに関連しています)、下痢や嘔吐といった症状があります。栄養失調の子どもは、一般に消化器官が衰弱しており、呼吸器もウイルスに感染していることがあります。

D) センターは有料なのか無料なのか。無料であったらなぜ子供たちにケアできるのか、ケアするお金はどうしているのか。

はい、無料でケアを提供することがしばしばあります。一方で、無料で提供する代わりに母親たちにセンター内のちょっとした手伝い、例えば廊下の掃除や部屋の掃除などといったことをお願いすることもあります。そうすることで、母親たちも気兼ねせずケアを受けられることになるからです。

E) 退院してからまたセンターに戻ってくる子どもはいますか。

はい戻ってくる子どももいます。彼らには食事を提供したり、学費を払ってあげたりする場合もあります。

F) 現在施設で生活している子ども・親・スタッフの人数

現在、CREN を診療所に改良するために CREN の活動を休止しています。そのため、子どもたちもおられません。改修すれば、私たちは子どもたちをより良く世話することができます。これは、栄養改善指導のためだけに CREN に来て、子どもの状態が少し良くなると母親が子どものその後のケアから脱落していることに気づいたためです。下痢、感染症などで栄養失調に陥っている場合は、より深刻な状態であるため、治療的ケアのために他の施設に連れていく必要があります。栄養モニタリングの継続が困難になります。この事実から、2017 年9月または 10 月頃までに診療所としての CREN を完成させて活動を再開する予定です。
2名の看護師シスターと薬剤を扱う者1名が新たに勤務します。2-3年後には、助産院も併設したいと考えており、そうすれば、妊娠中に栄養失調についての知識の享受が可能となり、また、妊娠中の栄養不足などを回避することができます。こうしたことから、現在は畑仕事をやる者と CREN のお世話をする2名をあわせて3名が勤務しています。

子どもたちのサポーター(母親)に お礼を申し上げます

奨学金は 【小学生年間2万円 中学・
専門学校4万円 私学の中学8万円】で
ます。
便利な送金のための口座を開設しまし
た。
ゆうちょ振替口座
— 番 号 : 0 0 1 2 0 - 1 - 7 6 3 6 3 9
名義人 : バオバブの会
同封の用紙を使って送金をお願いしま
す。
会費は、一日2000円です。
備考に会費・寄付金を明記して下さい。

会長時間



本日は、三原やっさ祭り実行委員長の森川様とミスやっさの浦郷様においでいただいております。後程やっさ祭りのお話を聞かせていただけたらと思いますのでお楽しみに。

さて、夏という事で高校球児たちが全国で甲子園を目指して頑張っていますが、広島県においては昨日決勝戦があり、広陵9:5 広島新庄で広陵高校が2年ぶりの夏を制覇しました。

プロ野球は昨日広島カープと巨人が対戦し、広陵高校出身の野村投手が巨人をおさえて2対1で勝利しました。今年私は3回球場に行く機会があり3連勝です。

高校球児やプロ野球の選手を目指す方は、それぞれ幼いころ地域の中で少年団の野球チームで活躍されていると思います。先日、私が住んでいる入野小学校区の安芸入野スポーツ少年団というチーム、私の子ども子供のころお世話になったチームですが、年に4回県大会に出場するチャンスがあるのですが、その内の1回を第2位で制覇し、8年ぶりに県大会に出場が決まったという非常に喜ばしいニュースが入ってきました。8月5日豊栄のへそ祭りがある日ですが、広島県総合グランド野球場(Coca-Cola West 野球場)で試合がありますので、もし機会がございましたら応援に行ってお越しください。

7月30日(日)河内町でリバーサイトフェスティバルというイベントがあります。棕梨川の河川敷で鮎のつかみ取りをして塩焼きをし、食べておいしい生ビールを飲んで帰れるイベントでございますので是非お子さん、お孫さんを連れておいでください。



幹事報告

《配布物》週報1081号・会費のお願い

地区大会本登録・やっさ祭りチラシ

7月理事会報告(決算・予算書)

《回覧》防府RC60周年記念誌

- ・地区大会本登録出欠表
- ・元米山奨学生 黄琳娜さんより近況報告メール
- ・赤十字NEWS
- ・ロータリー情報ハンドブックのご案内(3,000円)
- ・ロータリー入門書のご案内(800円)
- ・ブルキナファソ関係資料
- ・納涼家族例会出欠表

卓話時間

「第42回三原やっさ祭りについて」



三原ミスやっさ
浦郷杏菜様

皆様こんにちは。2017三原ミスやっさの浦郷杏奈と申します。本日は広島空港ロータリークラブ例会にお招きいただきまして誠にありがとうございます。簡単ではございますが今年の三原やっさ祭りの見どころをご紹介します。

まず初めに、金曜日の夜は市内約1000名小中学生による子どもやっさ踊り、そして約1000名の踊り手による創作・正調やっさ踊りを披露いたします。土曜日には約5000名の踊り手による正調やっさ踊りを披露いたします。また土曜日にはヒップホップダンスバトルも開催いたしますので、ぜひ踊りが大好きな皆さん踊りに参加するもよし、観覧で楽しむのもよし奮ってご参加してください。

また土曜日の夕方は三原駅前を中心として瀬戸内三原 築城450年事業としまして、“築城450年！メモリアル・ハッピーパレード”と題しまして、地元のダンスチームの演技をはじめとし、メインには東京ディズニーリゾート・スペシャルパレードを開催いたします。当日は地元の小学生も一緒にパフォーマンスに参加するという盛上がり間違いなしです。ぜひ皆さん楽しみにしてください。

そして三原やっさ祭りのフィナーレといえば、そう三原やっさ花火フェスタですね。近年とても有名な花火となってまいりましたが、

今年も中四国地方最大級の2尺玉を打ち上げます。今年も三原のさんという数字にちなんでなんと3発上げる計画です。ちなみにこの2尺玉花火の打ちあがる高さを皆さんご存知でしょうか。実は450メートルの上空まで上がり、約直径450メートルにも開花いたします。偶然にも今年の築城450年と数字つながりですね。



最後になりますが今年の8月11、12、13は三原やっさ祭りの会場で皆さまのお越しをお待ちしておりますので、多くの皆さまのご来場お待ちしております。



第42回三原やっさ祭り 実行委員長 森川朋和様

はじめに、これまで42年の長きにわたり三原やっさ祭りの運営並びにご賛助を賜りました多くの方に、心より感謝の意と御礼を申し上げます。その功績は、市民の皆様へ“夏が来ればやっさが来る”と認識いただき、やっさ囃し歌が聞こえれば自然と体が動き“ワクワクする”そのマインドは、子どもの頃からの体験を通じて市民の根っこに深く根付いています。やっさ祭りがこれほど多くの方に認知いただき、楽しんでいただける祭りへと成長を遂げたのは、先人の尽力はもちろんですが、世代を越えて三原で最も親しまれ愛されてきたやっさ踊りを祭りの中核として継承してきているからであると確信しております。

本年は瀬戸内三原 築城450年の記念すべき年を迎え、三原市内でも多くの行事が開催される中で三原市全体の盛り上がりとして体感できるほどになってきております。10月のエンディング、そして築城500年へと続くスタートを迎えるにあたり、三原やっさ祭りにおいてもこの機会を最大限に活かし、450年という長き歴史にちなんだ内容を盛り込み未来を見据えた祭りを展開して参ります。

特に今年一番の目玉としては祭りの中核である三原やっさ踊りです。これまでも特に力を入れて取り組んで参りましたが、本年はより子どもたちが参加しやすい環境を構築できるよう、子どもやっさの振興に注力して参ります。これからを担ってゆく子どもたちの醸成は、私たちにとって本当に不可欠なものであると考えます。まずはこのまちを好きになってもらうためにも子どもやっさ踊りの振興をこれからの三原やっさ祭りの最重要課題として考え取り組んで参ります。

また実行委員会の内部の運営自体にも目を向けて、第40回の村上実行委員長が掲げられた組織の増強、予算の獲得、各種事業の見直しなど単年度ではないこれから先を見据えた運営形態へと変化してゆけるよう取り組んで参ります。例えば今年度から組織の増強として、まずはここ4年ほど取り組んできているやっさサポ（やっさサポーターの略称）の増強に着手して、現在100名程度のボランティアスタッフを確保しております。また踊りチームからのボランティアスタッフも20名程度金曜日、土曜日と踊り警備のお手伝いをしていただけるようになっております。そしてこれまで取り組んできていただいている各委員会の連携を、今まで以上にはかれるように実行委員会での会議

体のあり方について議論の時間に費やすことに取り組んでまいりました。

次に予算獲得に向けてまず初めに着手したのが、広告協賛のあり方についてです。昨年度まではガイドチラシのみの広告媒体であったものを今年から新たにリニューアルして、まずはガイドチラシが今までガイドチラシと広告協賛と2枚に分かれていたものを1枚にし、紙のサイズをB2判からA2版へとサイズアップして表面がガイドチラシ、裏面が広告協賛としてこれまで新聞折り込みでしか、広告協賛を見ることがなかったものを、会場でもどこでもガイドチラシさえあれば、必ず広告協賛が見ていただける形態へと変更しました。

また今回ホームページのリニューアルを行い、今まで商工会議所の職員さん任せで行っていたものを、すべて外部に発注し今まで取り組めなかった広告協賛の媒体としての活用また、申請手続き関係なども電子化にシフトチェンジすることで、若い世代にも対応できるようになりました。またこのおかげで事務業務並びに、紙の無駄遣いの削減にも大きくつながりました。しかし、予算獲得について現状やはり厳しい状態であるのは否めません。なぜなら今年は築城450年の特別予算が500万円程度あり、三原市からの補助金が680万円ほどありますが、今年が終わったとき、来年度以降これほど予算がいただけるのか、これは現状全く不透明であると思います。であるからこそ今年広告協賛の大切さをより感じ、多くの企業様にご賛同していただくためには企業様にもメリット面をしっかりと伝えたいといけなないのであると考え事業費獲得にむけた動きを展開してきました。

そして最後に事業の見直しといたしますことで、今年も子どもやっさ踊りを実行委員会として最重要の課題として考えている点は申し上げたのですが、この点についてここ3年間継続で同じ委員会を作り、また同団体に取り組んでいただき継続することで、ここ何年かで初めて参加チームが2チーム増加し、過去最多の13チームとなりました。この事業は継続することで必ずみを結ぶものであると、私は信じておりますので、最終目標はやはり全校参加を目指して取り組んでまいりますので、皆さまのご協力よろしく申し上げます。

結びに、この三原がかがやき続けるために、まちのアイデンティティである三原やっさ祭りをより盛大に開催できるよう粉骨砕身の精神で尽力して参りますので、これまで同様変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



12^土 16:50~17:30 築城450年! メモリアル・ハッピーパレード

東京ディズニーリゾート・スペシャルパレードや地元で活動するYAYOIバトンスクールが三原城築城450年を記念して「築城450年! メモリアル・ハッピーパレード」を開催! ディズニーの仲間たちと地元の小学生が共に三原やっさ祭りを盛り上げてくれます。

YAYOIバトンスクール



YAYOIバトンスクールの生徒約40名による、バトンとカラーガードによるパレード

東京ディズニーリゾート®・スペシャルパレード



「東京ディズニーリゾート」からミッキー・マウスをはじめとした、ディズニーの仲間たちが、夢と魔法を届けるために、やっさ祭りの築城450年! メモリアル・ハッピーパレードにやってきます。

※パレードは悪天候等の理由により中止、一部内容変更の可能性があります。
※画像はイメージです。



パレードコース

約七千人が歌って躍る

中四国最大級2尺玉花火が夜空に輝く

祝 三原城築城450年

広島県内最大級の夏祭り

第42回

三原やっさ祭り

8/11^金 12^土 13^日

踊り・イベント

花火



8/12^土 10時~15時30分



東京ディズニーシー®「ダッフィーバス」がやってくる!

ところ 三原駅前市民広場 (芝生広場)

東京ディズニーシーの人気キャラクター「ダッフィー」のぬいぐるみと同じ素材でラッピングした「ダッフィーバス」がやってきます。

外側から記念写真を撮ったり、ふわふわな車体に触ったりしてお楽しみください。

※画像はイメージです。

8/13^日 10時~14時

駐車場が近くにはありません。公共交通機関のご利用にご協力ください。

やっさ祭りについての
お問い合わせ先

三原やっさ祭り実行委員会
三原市皆実4丁目8-1 TEL 0848(62)6155
詳しくは [HP] <http://www.yassa.net/>

主催 三原やっさ祭り振興協議会

後援 中国新聞備後本社、中国放送、NHK広島放送局、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、エフエムふくやま、(一社)広島県観光連盟、三原テレビ放送株式会社、西日本旅客鉄道株式会社 広島支社

三原やっさ祭り で